

日露医療協力推進事業
実施団体公募要領

平成 29 年 3 月
厚生労働省医政局

日露医療協力推進事業実施団体公募要領

1. 総則

平成28年12月15日、塩崎厚生労働大臣は、来日したロシア連邦スクヴォルツォヴァ保健大臣との間で、「日本国厚生労働省とロシア連邦保健省との間の医療・保健分野における協力覚書」に署名を行い、医療・保健分野における協力を今後、発展させることで合意しました。

また、平成28年5月のソチでの首脳会談において安倍総理からプーチン大統領へ医療分野における協力が1つ目に位置づけられている「8項目の協力プラン」を提示し、プーチン大統領から高い評価と賛意が表明されました。

(注) (1)健康寿命の伸長, (2)快適・清潔で住みやすく, 活動しやすい都市作り, (3)中小企業交流・協力の抜本的拡大, (4)エネルギー, (5)ロシアの産業多様化・生産性向上, (6)極東の産業振興・輸出基地化, (7)先端技術協力, (8)人的交流の抜本的拡大

同12月15日の首脳会談において、医療分野では健康寿命の延伸や子供向け医療の協力など協議が進展していることを確認し、今後更に8項目の協力プランの具体化を推進することがあらためて確認されました。

日露間の医療・保健分野における協力覚書における協力や8項目の協力プランにおける内容を具体化することにより、高品質な日本の医薬品、医療機器及び医療サービスの国際展開を推進し、日本の医療分野の成長を促進しつつ、日露両国民の健康寿命の伸長を図ることは、日本及びロシアの双方にとって、好循環をもたらすものと考えられます。

今般、日露医療協力推進事業を実施する団体を選定するために、以下の要領で実施団体の公募を行います。

なお、この公募は事業実施期間を十分確保するため、平成29年度予算案に基づき、予算成立前に行っています。採択・執行に当たっては、国会での平成29年度予算成立が前提となりますので、今後、事業内容や実施時期等に変更があり得ることをご承知おき下さい。

2. 事業目的

平成28年12月に日本国厚生労働省とロシア連邦保健省の大臣間で締結した医療・保健分野における協力覚書の内容や同年5月に安倍総理から提案した、医療分野における協力が1つ目に位置づけられている「8項目の協力プラン」を具体化することにより、高品質な日本の医薬品、医療機器及び医療サービスの国際展開を推進し、日本の医療分野の成長を促進しつつ、日露両国民の健康寿命の伸長を図ることで、日本及びロシアの双方にとって、好循環をもたらすことを目的とする。

3. 事業内容

(1) 実施主体は、厚生労働省とともにロシアとの協力関係を強化するとともに、特に以下の分野に関する事業を実施することで、日露両国民の健康寿命の伸長を図りながら、日本の医療を効果的・効率的に国際展開する。

- ① 非感染性疾患及び非感染性疾患が発生するリスク要因の早期発見を含む健康の強化及び疾病予防の強化
- ② 健康づくり、初期医療、予防、リハビリテーション及び緩和医療
- ③ 小児科、母子の健康維持
- ④ 「e-ヘルス」、遠隔医療及び保健分野に適用されるその他の情報通信技術
- ⑤ 医療従事者の技能及び専門性向上
- ⑥ 保健分野における医療イノベーション技術と治療の導入
- ⑦ その他日露両国民の健康寿命の伸長を図りながら、日本の医療を効果的・効率的な国際展開に資する取組

(2) 実施主体は、これらの事業を実施する上で必要となる各種会議の管理・運営に関すること及び厚生労働省の指示に基づく事業を行う。

4. 実施主体は、事業の実施にあたって、事前に厚生労働省へ十分協議することとし、特に、プロジェクトの実施にあたって再委託する場合は必ず厚生労働省と協議することとする。

5. 本事業に係る委託費の交付について

本事業に係る委託費の交付については、別に定める「日露医療協力推進事業交付要綱」により行うこととなり、972,067千円を基準額（上限額）とし、対象とする経費は本事業の実施に必要な、人件費、賃金、旅費、報償費（謝金）、需用費（消耗品費、備品費、印刷製本費、会議費、図書購入費、修繕費）、工事請負費、役務費（雑役務費）、光熱水料、通信運搬費、借料及び損料、委託料（これら費用に関するもの）に限ります。

6. 事業期間

事業期間は、事業者として選定された日から平成30年3月31日とします。

7. 応募団体に関する諸条件

実施団体への応募者(以下「応募団体」という。)は、次の条件を全て満たす団体であることとします。

- (1) 継続的に事業を運用することができること。
- (2) 本事業を実施する上で必要な経営基盤を有し、資金等に関する管理能力を有すること。
- (3) 日本に拠点を有していること。
- (4) 厚生労働省等から補助金交付等停止、又は指名競争入札における指名停止を受けている期間中でないこと。
- (5) 予算決算及び会計令第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。

8. 応募団体の評価

(1) 評価の方法

事業実施団体の採択については、医政局総務課において、上記「7. 応募団体に関する諸条件」に該当する旨を確認した後、企画書等を評価します。企画書等の内容について書類評価及び必要に応じてヒアリングを行い、それらの評価結果を基に最も効率的かつ効果的に事業を担えると認められる応募団体を実施団体として選定します。

評価は非公開で行い、その経緯は通知いたしません。また、問い合わせにも応じられません。なお、提出された企画書等の資料は、返却いたしませんので御了承ください。

(2) 評価の手順

評価は、以下の手順により実施されます。

- ① 形式評価
 - ・ 応募団体について、応募条件への適合性について評価します。なお、応募の条件を満たしていないものについては、以降の評価の対象から除外されます。
- ② 書面評価
 - ・ 提出企画書等の内容を中心に書面評価を実施します。
- ③ ヒアリング
 - ・ 必要に応じて、申請者(代理も可能としています。)に対して、ヒアリングを実施します。
 - ・ なお、ヒアリングに出席しなかった場合は辞退したものと見なします。
- ④ 最終評価
 - ・ 書面評価及びヒアリングにおける評価を踏まえ、最終的に実施団体を選定します。

(3) 評価の視点

評価の視点は、以下のとおりです。

I. 事業計画について

- ① 事業を遂行するために必要な根拠(人員、経験、設備、資金)が示されて

いるか

- ② 事業を的確に遂行するために十分な管理能力があるか
- ③ 経験・能力・体制等を踏まえ事業のスケジュールが明確になっているか
- ④ ロシアへの医療協力にかかる事業を実施するにあたっての十分な知見・経験を有しているか

II. ロシアへの裨益について

- ① 事業の内容がロシアに適したものとなっているか
- ② 事業の内容が対象国において効果的に裨益するものであるか

III. 我が国への裨益について

- ① 事業の内容が我が国の政府の方針を踏まえたものになっているか
- ② 事業の成果が両国の医療協力にとどまらず、我が国の医療産業に裨益するものであるか

IV. ロシア及び我が国への裨益について

- ① 日本及びロシアの双方にとって、医療水準の向上や経済成長への好循環をもたらすものであるか

(4) 評価結果の通知

評価の結果については、最終評価後速やかに応募団体に対して通知する予定です。なお、委託費については、実施団体選定の通知後に必要な手続きを経て、正式に交付決定されることになります。

9. 応募方法等

(1) 企画書の作成及び提出

「日露医療協力推進事業企画書」を作成し、必要部数を以下の提出期間内に提出してください。（様式任意）

企画書には以下の項目及び公募要領に示されている評価の視点を盛り込んでください。記入漏れ等無いようにお願いします。

- ① 本事業を実施する組織体制
- ② 29年度における実施スケジュールと実施内容（具体的なもの）
- ③ 事業に係る費用積算（類似様式の添付でも可）
- ④ 現在応募団体にて実施している類似事業（あれば）の概要説明

(2) 応募方法

① 提出期間

平成29年3月22日（水）から平成29年4月4日（火）17時（必着）

② 提出先・問い合わせ先

提出先：〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2

厚生労働省医政局総務課医療国際展開推進室 あて

郵送の場合、封筒の宛名面には、「日露医療協力推進事業」と朱書きにより、明記してください。

問い合わせ先：厚生労働省医政局総務課医療国際展開推進室

Tel : 03-5253-1111 (内線4108、4116)

Fax : 03-3501-2048

③ 提出書類

以下の書類を8部提出ください。

- A. 「日露医療協力推進事業企画書」
- B. 団体経歴（概要）、団体定款、代表団体と参加団体の関係が確認できる書類など活動が分かる資料
- C. 団体の直近決算年度の確定申告書(写)、財務諸表(写)
- D. その他必要な資料

④ その他

評価の段階で必要に応じて企画書等を電子媒体で提出するよう依頼することもありますのでご承知おきください。

以上

日露医療協力推進事業 予定費用

区分	支出予定額			備考（摘要）
	員数	単価（円）	金額（円）	
人件費				
賃金				
旅費				
報償費				
需用費				
役務費				
工事請負費				
光熱水料				
通信運搬費				
借料及び損料				
委託料				